

平成26年度 施政方針



平成26年第2回津島市議会定例会の開会に当たり、市政運営に対する所信を申し上げますとともに、補正予算の大綱につきまして、ご説明をさせていただきます。

このたび、私は、市民の皆様からの厚いご信任を賜り、市長の職務に就かせていただき、今後4年間、津島市政の舵取り役を担当させていただくこととなりました。

市政をお預かりする重責に、身が引き締まる思いではありますが、この重責をしっかりと受け止め、市民の皆様からお

寄せいただきました。信頼と、ご期待にお応えするため、新たな決意を持って、津島市の発展に全力を傾注して、取り組んでまいります。

市議会議員の皆様方、並びに市民の皆様方におかれましても、津島市の発展のため、ご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

経済・社会情勢

さて、わが国の経済については、長引くデフレからの脱却と、経済再生を

指したアベノミクスが一定の効果を上げ、緩やかではありますが、景気は回復傾向にあります。

また、昨年、国内では富士山がユネスコの世界遺産に登録され、そして2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定されるなど、大変明るい出来事がありました。

また、東京、名古屋、大阪の三大都市圏を約1時間で結ぶ「リニア中央新幹線」の計画が進められており、2027年度には、東京―名古屋間の開業が予定されており、様々な効果が期待されております。

しかし、一方では、内閣府の月例経済報告によりますと、個人消費は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きとなっていると報告されています。

これから、わが国は、今まで誰も経験したことのない「少子高齢社会」に否応なく進み、全国の自治体が、人口構造の変化がもたらす諸問題や、これに伴う地域経済の停滞、福祉、医療、防災など、地域社会に根差した様々な課題に直面しており、危機感を抱かずにはいられません。

この津島市も、大変厳しい状況におかれておりますが、私は、津島市長として、市民の皆様と一緒に手を取り合って、知恵を出し合い、ともに行動してまいります。

市民の皆様と一緒に考え、汗を流し、

津島市を、活力あふれるまちにしたい。

市民の皆様が「津島市に住んでよかった」と実感していただける、元気なまちづくりを、市民の皆様と一緒に進めてまいります。

と考えております。

つしま成長戦略

市民の皆様が「津島市に住んでよかった」と思っていただけるまちにしたいためには、地域の特性を活かし、地域経済を活性化させることで、地域の活力を向上させ、市民の皆様が「元氣」を実感できるまちとしていかなければなりません。

そのために、私は、『つしま成長戦略』として、5つの項目を掲げております。

子ども・子育て応援都市、つしま

先頃、新聞報道により、2040年には、全国の自治体の約半数で若い女性の数が半減し、多くの自治体が消滅の恐れがあるという推計が発表されました。

国立社会保障・人口問題研究所の報告書『日本の地域別将来推計人口』（平成25年3月推計）によりますと、全国の0歳から14歳の年少人口及び、15歳から64歳の生産年齢人口は、今後すべての都道府県で減少すると報告されています。

また、65歳以上人口は、平成32年まですべての都道府県で増加し、75歳以上人口は、平成42年まですべての都道府県で増加すると報告されています。

津島市においても全国と同様に、人口減少が進んでおります。

人口減少時代に入りました今、津島市の将来のためには、出生率を高め、人口流出を食い止めるとともに、人口の流入や定住を促す施策を展開し、人口減少に歯止めをかけていく必要があると認識しております。

そのため、成長戦略の「番目」として「子ども子育て応援都市」を掲げました。

子どもを産み、育てやすい環境の実現を目指し、子どもたちが健やかに育つ環境を充実してまいります。出生率を高め、子育て世代を呼びこみ、市外への流出を防ぐと同時に、津島市の将来を担う人づくりを進めてまいります。

まず、子ども医療費についてであります。これまで津島市は、経済的な理由で病院にかかることができない子どもをなくすため、小学校入学から18歳までの子ども医療費の一部を、無料化にしておりました。これを、小学3年生まで完全無料化にしたいと考えております。

次に、子育てでは、一時預り等の有償サービスに活用できる「子育て応援券」の発行をはじめ、子育て支援センターにおいて、働くお父さん、お母さんが相談しやすいするため、土曜日や日曜日に子育ての相談ができる、職員の体制の

充実を図りたいと考えております。

また、津島市の小中学校で学ぶ児童・生徒について、教育の向上はもちろんのこと、地元の食材を多く使用した、美味しく安全な学校給食を食べていただき、丈夫で健やかな体づくりを進めてまいります。



▲学校給食風景

その他、学童保育の充実や、私立高等学校に通う生徒の授業料の一部助成について、検討してまいります。

こうした取り組みをはじめとして、津島市は、子どもが生まれる前から産み育てるまで、子育て世代をまるごと支援する施策を、積極的に推進してまいります。

防災・減災のモデル都市、つしま

東日本大震災の発生から3年が経過いたしました。

この東日本大震災の教訓を踏まえ、

南海トラフ巨大地震などの大規模災害に対する防災・減災対策を一層推進するため、ソフト、ハード両面での取り組みに力を入れてまいります。

巨大地震などから、生命と財産を守り、被害を最小限にするためには、日頃からの知識の蓄積が必要不可欠であります。

そこで、子どもの頃から防災意識を養い、家庭での防災力の強化につなげていくための「家庭防災の日」を創設いたします。そして、「わが家の防災メモ」防災情報カード」を全戸配布し、家庭における防災の行動マニュアルを作成していただき、各地域で実践していただくことを考えております。



▲自主防災会による防災訓練

これまで同様、地域における防災訓練や出前講座などにより、「ミニミニ推進協議会や、自主防災会との連携をさらに強化し、地域防災力の向上に努めてまいります。

次に、ハード面ではありますが、引き続き、地震災害から命を守るために、住宅の耐震化や、家具の転倒防止対策を推進してまいります。

津島市は、その多くが海抜0メートル以下の地域であります。この海抜0メートル以下の地域で、命を守るためのまちづくりを進めるために、防災活動に取り組む市民や専門家の方、企業や大学など、様々な立場の方や機関等からアイデアを募り、ともに検討し、住宅のかさ上げや、高床式住宅などといった海抜0メートル地域のまちづくりのモデルプランを提案してまいります。

また、防災公園等の整備に向けて、愛知県に働きかけてまいりますとともに、企業や団体等のご協力を得て、一時避難場所の確保に努めてまいります。施策展開にあたっては、今後も、名古屋大学減災連携研究センターのご協力をいただき、災害時における具体的施策を研究してまいります。

地域の特性を活かした交流都市、つしま

津島市は、古から、津島神社の門前町として、また、湊町として栄えた歴史や伝統文化が数多く残るまちであります。

天王川公園をはじめ、歴史が感じられる本町筋など、市内各所において四季折々の情緒を味わうことができます。





療の提供に努め、市民の皆様から「あつてよかった」、「無くてはならない」と思っていただけの病院にしてまいりたいと考えております。

これからの超高齢社会を考えますと、津島市が、「いつまでも健康で暮らせるまち」を目指すことは、最も重要な基盤であると考えております。

「コミュニティ推進協議会等と連携を図り、すべての人が、地域とともに生き、ともに支え合うまちづくりを推進してまいります。

誰もが、住み慣れたまちで暮らし続けるため、これまで以上に「みんなでつくる健康つしま」を推進し、すべての人が、健康で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

以上この津島市を、市民の皆様が「津島市に住んでよかった」と実感していただけるまちとしていくための取組みを、『つしま成長戦略』として掲げた5つの項目にそって、説明してまいります。同時に、これらの成長戦略を推進するにあたり、常に意識していなければならぬポイントが、3点ございます。

**持続可能な行財政基盤の確立**

冒頭に申し上げましたように、今後、近い将来に、人口減少問題による影響は、あらゆる分野で顕著に表面化してまいります。

人口減少時代を迎え、超高齢社会の到来により、急速に高齢化率が上昇し、

社会保障費が増大します。このような歳出の増加は、自治体にとって大変大きな問題であります。

同時に、このことは、生産年齢人口の減少と、それによる経済の停滞を意味し、歳入の面においても、自治体の歳入の根幹となる税収の確保が、今まで以上に困難になることを意味しています。

当然に、津島市におきましても、これまで以上に、厳しい財政状況となることを覚悟しなければなりません。

このため、市民の皆様にもお力をお借りしながら、最小の経費で最大の効果を生み出すための創意工夫や、業務全般にわたって見直しを進め、組織能力の向上を図り、職員一丸となって行政運営を進めてまいります。

そして、不断に行財政改革に取り組むことで、将来にわたって、持続可能な行財政基盤の確立に努めてまいります。また、この津島市役所の組織を、社会状況の変化や、多様化する行政需要に、今以上に、迅速かつ的確に対応できる組織としていくために、人材育成はもとより、組織機構を見直し、組織強化を図ってまいりたいと考えております。

**広域連携の推進**

先程、5つの『つしま成長戦略』についてご説明いたしました。それぞれの戦略を実現し、一層、発展させていくためには、近隣自治体との良好な関係が不可欠であると考えております。

また、これからの人口減少時代におき

ましては、行政の効率化という意味から、広域連携が、これまで以上に重要となっております。

多様化する行政需要の中で、広域的な対応が求められる課題や、自治体間の共通の行政課題に対して、効率的に対応するためにも、この海部地域における、広域連携の推進が喫緊の課題であると認識しております。

関係する自治体との事務処理の共同化などを目指し、市境を越えて、近隣自治体との連携をさらに深めてまいりたいと考えております。

**市民協働の推進**

私は、生まれ育った、この津島市の災害対策を推進したいと考え、一人の市民として、防災活動に取り組んだことが、今日の私の原点であったと思っております。

まちづくりの主役は、そのまちに暮らす、市民の皆様一人ひとりであります。これまで、津島市は、市民協働を進めてまいりました。

その取組みは、高く評価され、一層推進されるべきものであると考えております。

私は今まで、市民の皆様とともに市民活動に取り組んでまいりました。市民の皆様の声や、市民の皆様の願いを市政に活かし、市民の皆様と、「顔の見える関係」を築き、市民の皆様と一緒に「津島市に住んでよかった」と思っていただけ、元気なまちづくりを進めてま

いりたいと考えております。



▲ごみゼロ運動

「ここまで、5つの成長戦略と、その基礎とも呼ぶべき、3点のポイントについてご説明申し上げてまいりました。

ここからは、これらを実現していく、第一段階として、今議会に提出いたしております平成26年度補正予算案につきまして、ご説明申し上げます。

**平成26年度補正予算**

今回の補正予算は、当初予算を骨格予算として編成したことに伴う、肉付けした予算であります。私が編成した最初の予算ではありませんが、私のマニフェストに掲げた事業を実現するには、事務的な時間が十分に確保できませんでしたので、9月以降の予算編成において反映できるよう、計画的に取り組んでまいりたいと考えております。



補正予算を会計別に申し上げますと、一般会計は5億5757万円の増額補正であります。特別会計は、3会計で合わせて351万7千円の増額補正であります。公営企業会計は、1億894万1千円の増額補正であります。以上を合わせますと、6億7002万8千円の増額補正となります。

その主な内容につきまして、私の掲げる5つの成長戦略と照らし合わせて、概要を説明いたします。

**子ども・子育て応援都市、つしま**

平成27年4月から始まります、子ども・子育て支援新制度に対応するために、昨年の6月補正予算で、子ども・子育て支援事業計画策定の経費が計上され、策定が進められているところですが、この事業計画を実施し、円滑に制度を運用する必要があります。このため、補正予算に所要額を計上し、電算システムの構築を行ってまいります。

また、生徒達が安心して充実した学校生活を送るために、計画的に小・中学校の屋上防水改修工事を進めていくために、天王中学校の屋上防水改修工事を実施してまいります。

なお、先程もご説明いたしましたのが、子ども医療費につきましても、小学3年生までの無料化拡大につきまして、今議会において、改正条例案及び補正予算案を追加提案する予定をしております。

**防災・減災のモデル都市、つしま**

昨年度から市庁舎の耐震改修工事を行っているところですが、市庁舎の防災拠点施設としての機能を強化・拡充するため、発生から72時間を目処とした非常用電源設備等の整備に係る基本設計を行うとともに、防災拠点となります消防庁舎及び避難場所に指定されている錬成館につきまして、耐震改修工事の実施設計を行ってまいります。



▲錬成館

また、犯罪防止活動の一環として、津島駅前駐輪場に防犯カメラを設置するとともに、町内会等で防犯カメラを設置する場合、その設置費を補助することにより、安心・安全なまちづくりを推進してまいります。

また、市内の各所に見受けられます幅員4メートル未満の狭あい道路は、災害時の緊急車両等の通行を妨げる恐れがありますので、拡幅にむけた調査を行ってまいります。

**地域の特性を活かした交流都市、つしま**

先程も申しましたが、尾張津島天王祭の車楽舟行事がユネスコ無形文化遺産の候補として挙げられました。50年以上の歴史を持つ、この郷土の誇るべき尾張津島天王祭を盛り上げるためのイベントに対し、市として補助を行ってまいります。

また、ホームページは現代において情報を発信するツールとして、有効な手段となっております。津島市は、豊かな歴史と文化を有するまちであります。この津島の魅力を今以上に効果的にPRできるよう、26年度中にホームページを再構築してまいります。

同時に、再構築にあたりましては、誰もが見やすい色の組み合わせや、文字の拡大、音声読み上げ等の機能を備えた、高齢者や障がい者にやさしい、誰でも必要とする情報に簡単にたどり着け、利用していただけるホームページといたします。

**地域経済が活性化する発展都市、つしま**

第4次津島市総合計画の、基本計画の中間見直しを行ってまいります。総合計画は、津島市全体のまちづくりの根幹でありますので、私の掲げる「つしま成長戦略」を反映するとともに、社会情勢の変化等に対応するために、基本計画を適切に見直してまいりたいと考え

ております。

また、交通の利便性向上を図り、人物の交流が活発になり、地域経済が活性化できるよう、道路の維持修繕や新設改良・交通安全対策などを実施してまいります。

**いつまでも健康で暮らす都市、つしま**

市民の皆様が、健康で暮らしていただけよう、がん検診の受診を推進する事業や、基礎体力の向上を図るため、津島市の健康体操と、そのイメージソングを創作し、普及啓発を行ってまいります。

以上、今回の補正予算の主な事業について申し上げますが、今後につきましても、限られた財源のなか、不断に行財政改革に取り組むことで財源を確保し、つしま成長戦略を確実に実現させたいと考えております。

今後の市政運営に当たり、所信の一端を申し上げてまいりましたが、詳細につきましても議事の進行に従い、ご説明申し上げますと思います。また、今議会には、補正予算案をはじめ、条例などの諸議案を提出いたしております。

いずれも市政運営に欠くことのできないものばかりであります。十分なご審議を賜り、適切なご議決をいただきますようお願い申し上げます。

町内会活動に参加しましょう！

町内会の必要性を再認識しましょう

町内会は、住みよい地域づくりや、地域のさまざまな課題を解決するため、環境美化活動、防災・防犯活動、夏祭りなどの活動を行っています。

私たちは、阪神・淡路大震災、東日本大震災からも、地域社会の力や助け合い支え合う人間関係の大切さを学びました。

こうした人間関係を口頭から自分の周りにたくさん持っていることが、いざというとき大きな力になります。困ったときに頼りになるのは、ご近所であり、町内会です。

こんな時に町内会が活躍します

防犯・防災関係では、町内会が大きな力を発揮します。

個人の力だけではどうしようもないような犯罪や災害に立ち向かうには、日頃から顔の見えるつながりを持ち、地域が結束することが必要です。

市内には29の町内会があり、さまざまな活動をしています。住民のふれあいや交流を深める活動や行事、資源物回収、公園・道路などの清掃活動、健康づくりや地域での福祉活動などが行われています。また、防犯灯の設置や管理、子どもたちを不審者から守る防犯活動、年末の夜間パトロールなど、犯罪や交通事故のない、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいる町内会も

増えてきています。

さまざまな工夫をしている町内会を紹介！

白浜町町内会（加入世帯196世帯）

防犯パトロールで抑止力アップ

白浜町は自然豊かな田園地域ですが、近年、空き巣、侵入盗などが増加していました。

平成20年に防犯パトロール隊を結成し、約50人が活動しています。参加者は親子3世代にわたり、地域の危険箇所や不法投棄などの実態確認もあわせて行っています。

パトロールを通じて、地域住民の防犯意識を高め、「地域一丸の互助精神」における防犯運動」を展開することで、犯罪者を寄せ付けない住み良い安心安全なまちづくりを進めています。



江東町町内会（加入世帯526世帯）

ハザードマップで防災力アップ

江東町は徒歩圏内に小中学校や図書館、津島神社、天王川公園などもあり、生活利便性が高い地域です。

しかし、平成12年9月1日に起こった東海豪雨では、江東町区域で浸水箇所が多くみられることになりました。

そこで、地域住民が水害のときに見えるなくなった道路や水路などの危険な場所、障害物や避難場所を歩いて確認し地図上に記入し、誰もが認識できるハザードマップを作成して、各世帯に配布しました。

マップづくりを通じて、住民同士が防犯意識を高め、住民同士の助け合いの心が芽生えました。



応援します！町内会活動

市の広報紙や、市政情報などを、町内会を通じてお知らせしているほか、ごみステーションの維持管理など、町内会と行政が協働で、まちづくりを進めています。また、町内会活動を支援するために町内会業務助成金を交付しています。

町内会に加入するには

各町内会の代表者へご連絡ください。「どの町内会に属するのか分からない」「町内会代表者が誰なのか分からない」場合は、左記までお問い合わせください。

問合せ

「コミュニティ推進課 内線23224」  
23225